

ゆずりは

国立市立国立第二中学校
生活指導だより
令和2（2020）年7月
第3号

学校における「新しい生活様式」

緊急事態宣言が解除され、コロナウイルス感染拡大以前の生活に戻そうと様々な活動が始まっています。そのような中で、プロ野球が開幕しました。プロ野球を楽しみにしている人たちが少しでも前向きになってほしいという思いから、早く試合を再開しようと感染拡大防止対策などの準備を進め、無観客で試合を実施することになりました。声援や歓声の聞こえない中継はこれまでのプロ野球に慣れている人にとっては寂しいかもしれません。ですが、無観客だからこそ聞こえてくる音や声があります。時速150kmの速球を受けるキャッチャーミットの音。その速球をはじき飛ばすバットとボールが当たった瞬間の音。審判のジャッジの声。そして、連係プレーや励ましのための選手たちの声。無観客になったおかげで普段なら声援でかき消されている音や声を聞くことができ、プロのスポーツ選手の迫力やレベルの高さを知ることができます。これまでの生活の中では知ることのできないことをこのような状況の中だからこそ知ることができたとプラスに捉えたいと思います。球場に向き、大きな声援の中での試合を見るときには、改めてプロ野球選手の偉大さを感じたいと思います。

さて、国立二中でも分散登校が終わり、全校生徒がそろっての授業が再開されました。コロナウイルス感染拡大防止のため、文部科学省から学校生活における「新しい生活様式」が示され、それに基づいて対策をとっています。この「新しい生活様式」の中で以下の3つの取り組みが重要視されています。

身体的距離の確保



三密（密閉、密集、密接）を避けるため、人との距離を1～2mに保って生活を送ります。机の配置を工夫し、人と人との前後の間隔が1m程度になるようにしています。生徒全員が飛沫防止ガードを机に設置して授業を受けます。また、廊下に溜まらない、休み時間には窓を開けて換気を行う（熱中症対策のため、授業中はエアコンを付け、教室の前後の窓を開け換気をしています）など、密の状態が少なくなるようにしています。

マスクの着用



飛沫防止のため、登校してからは全員がマスクをして生活を送ります。汚れたマスクは自宅に持ち帰るようにし、感染源にならないようにします。これから暑い日が予想されます。登下校中は人との距離が十分に保てるようにすれば、マスクをはずしても構いません。

（マスクを付けていない人を見たとき、不安を感じる人がいます。このような人の気持ちを考えてマスクを着用するようにしましょう。）

手洗い



30秒間手洗いをする、ウイルスはほぼなくなると言われています。授業が終わった後、共有するものを触ったとき、給食の前後など、こまめに手洗いをするようにしています。

また、授業終了後に教室などの消毒を行っています。飛沫防止ガードは週1回消毒を行います。汚れが気になるときは除菌シートなどを御用意ください。

国立二中の多くの生徒が「新しい生活様式」を意識して生活を送っています。仲のよい仲間との関わりが楽しくて距離が近くなってしまい、ソーシャルディスタンスの取り方が不十分な面が見られます。距離を保ちながらも楽しい会話をすることはできます。良い距離感を早くつかんでいきましょう。まだ課題はありますが、周りの人のことを考え、辛抱しながら対応している生徒の姿を見ていると頭の下がる思いでいっぱいです。ニュースを見ると、緊急事態宣言が解除され緊張感が薄れている様子が見えます。その中で、この状況に合わせてふさわしい行動ができていく二中学生は素晴らしいです。今求められていることは、従来の生活習慣や考え方を柔軟に現状に合わせていくことです。いつまで続けなくてはいけないか見通しが立たない状況ですが、「新しい生活様式」を新たな生活習慣にしていくことで、過ごしやすい学校生活にしていきたいと思っています。

東京都では感染者の数が100名を超える日が続く、心配な状況が続いています。不安なことやわからないことなどがありましたら、学校まで御連絡ください。不安な気持ちを共に共有しながらこの状況を乗り越えていきたいと思っています。

今回使用しているイラストは、大阪府門真市のホームページにあるものです。コロナウイルス感染拡大防止対策のポスターなどを作成するために自由に活用することを許可していただいています。たくさんある中で、学校生活に関わるものを紹介します。



ハッピーバースデーの曲は15秒だったのですね。

幸せいっぱいの15秒間ですね。

制限の多い生活ですが、小さな幸せを大切にしたいと思います。